



平成18年度浄水場等設備技術実務研修会

(第3回：9月25日～9月29日)

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々15名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作を実習するとともに設備機器の保守・管理の実務について、研修を実施した。

平成18年度水道事業管理職事務研修会

(東京会場：9月19日・20日、大阪会場：9月28日・29日)

東京、大阪の2会場で95名(東京会場：36名、大阪会場59名)の参加を得て、「水道事業の現状と課題」「水道料金の理論と実践」「水道事業における第三者業務委託」「水道事業会計の2つの資金について - 補填財源資金及び現金資金」「水道事業の運営基盤強化 - 広域化事例・危機管理 -」について研修を実施した。

平成18年度未納料金対策実務研修会(第2回)(9月21日～9月22日)

水道事業及び賛助会員の主に料金徴収業務に携わる方々約80名の参加を得て、未納料金対策について実務を中心とした研修会を実施した。

また、グループ別のディスカッションに於いては、活発な情報交換が行われた。

第601回抄録委員会(9月19日)

本誌12月号に掲載する外国文献の抄録内容及び11月号に掲載する海外文献目録の和文題名について審議した。

第846回会誌編集委員会(9月25日)

本誌10月、11月号の編集方針、投稿原稿の審査、新規原稿の取扱い並びに水道協会雑誌の編集企画について審議した。

第1回水道事業における調達方式のあり方に関する検討会(9月25日)

議題 「正・副委員長の選出」について審議し、委員長には、東海大学工学部土木工学科教授の茂庭委員、副委員長には、東京都水道局建設部長の長岡委員が選任された。

続いて、議題 「小委員会の設置」について審議し、「調達方式検討小委員会」、「総合評価導入検討小委員会」、「業務委託等検討小委員会」の3つの小委員会が設置されることとなった。



東海大学
茂庭委員長



東京都水道局
長岡副委員長



第10回水道 GLP 認定委員会（9月26日）

社団法人愛知県薬剤師会の水道 GLP 認定について審議し、審議の結果、水道 GLP 認定を決定した。

第85回機械・電気・計装専門委員会（9月27、28日）

「水道用機械・電気・計装設備 実務マニュアル」の原案作成について、設計、工事監理、保全管理、運転管理及びノウハウ集の構成及び記述内容等について審議した。

第19回認証審査委員会（9月28日）

前回議事録の確認後、認証業務実施状況、工業標準化法改正に伴う日本水道協会の対応、登録維持料等の取扱い、品質認証システム再構築の進捗状況、について事務局より報告し、続いて認証基本契約書等の一部改正について審議し、原案通り了承された。

JIS マーク表示制度認証授与式（10月6日）

第2回 JIS 製品認証業務判定委員会（9月14日）にて東洋バルヴ(株)の初回審査適合性に関する判定について適合となり、JIS マーク表示制度認証授与式が行われた。



第36回国際委員会 (10月10日)

2012年 IWA 世界会議の誘致、第2回 IWA-ASPIRE 地域会議 (パース)、2011年 IWA-ASPIRE 地域会議の誘致について審議を行うとともに、第7回水道技術国際シンポジウム、大垣委員の IWA 副会長当選、第5回 IWA 世界会議 (北京)・役員会議等、ASPIRE 評議会 (北京)、IWA 機関誌 Water21への投稿、IWA Leading-Edge Technology 2007、IWA Women's network、アジア・太平洋水フォーラム、日本水環境学会国際委員会への委員派遣について、報告を行った。

この結果、2012年 IWA 世界会議の誘致については、他国の立候補状況等を鑑み、本会会員事業体からの立候補都市選出を断念したが、2011年 IWA-ASPIRE 地域会議の開催立候補都市については、今後も会員事業体に働きかけることとした。また、第2回 IWA-ASPIRE 地域会議 (パース) について、本会会員に対して積極的な論文投稿を促すことが承認された。

第19回 IWA 日本国内委員会 (10月11日)

報告事項として、議長の大垣東京大学教授の IWA 副会長の当選、9月の第5回 IWA 世界会議 (北京)・役員会議、第2回 IWA-ASPIRE 地域会議 (パース) の論文募集、IWA 機関誌 Water 21への投稿について報告したのち、審議事項として、IWA 理事の交代、国内委員会委員の追加、2012年 IWA 世界会議の誘致、2011年 IWA-ASPIRE 地域会議の誘致、ASPIRE 事務局の設置、IWA Women's network の日本からの代表者の人選について審議を行った。

この結果、前大垣理事の副会長就任により空席となった理事の交代ならびに IWA 日本国内委員会委員2名の増員が承認された。また、2012年 IWA 世界会議誘致については、招致に積極的な都市がなく現状では誘致困難と整理された。2011年の IWA-ASPIRE 会議の誘致については、この後も状況を見守る事とした。IWA-ASPIRE 事務局の設置については、日本が同地域のイニシアチブを取れる様、事務局設置国の名乗りを上げる事も視野に入れ国内の環境を整備することが承認された。

第602回抄録委員会 (10月6日)

本誌1月号に掲載する外国文献の抄録内容及び12月号に掲載する海外文献目録の和文題名について審議した。

第72回検査事業委員会 (10月11日・12日)

第1日目は、審議の対象である製造工程及び検査体制等について指定検査工場を視察し、翌日の審議の参考とした。

第2日目は、はじめに議題⁽¹⁾ 委員長及び副委員長の互選について諮り、委員長に東京

都水道局の長岡建設部長、副委員長に横浜市水道局の高橋配水部長を選出した。

続いて事務局より、報告事項 第71回検査事業委員会議事録、平成17年度検査事業決算、平成19年度検査事業予算(案)、新JIS認証業務について報告を行ない承された。

次に、議題⁽²⁾日本水道協会の検査制度について検討を行った。

陳情(10月11日)

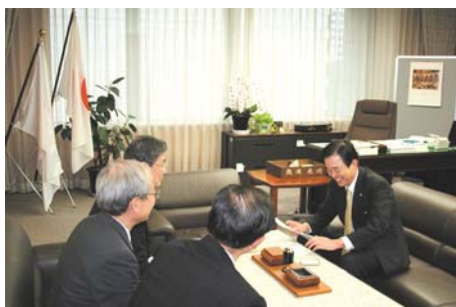
第254回理事会において承認を受けた「公営企業金融公庫の機能維持のための運動方針」により、自由民主党本部、総務省、公営企業金融公庫に対し、日本水道協会赤川専務理事、日本下水道協会安中理事長、日本工業用水協会清野専務理事による3団体合同の陳情活動を行った。



自由民主党中川幹事長へ陳情



自由民主党丹羽総務会長へ陳情



総務省松田事務次官へ陳情



公営企業金融公庫渡邊総裁へ陳情